

(青森県) 五所川原市広報

市政ニュース

(昭和33年9月10日第3種郵便物認可) 第102号 一部2円
発行所 五所川原市役所 印刷所 陸奥印刷株式会社



市婦連消防署慰問 署員の訓練に感心

昔から泥棒ひとシヨイ、火事は丸やけという言葉があります。これから年の瀬になりますと、なんとなく心がざわめき、ちよつとの留守に火事を出すことがしばしばあります。こうしたことから先づは心の戸締りと市婦人会連絡協議会長の 佐藤貞さんら30余名の会員は、10日午後 市消防署を訪問、日夜私たちのためにご苦労いただき感謝にたいません、と署員を慰問、杉野署長らと懇談したあと、杉野署長、小山内副長の案内で仮寝室、通信室、待機室など署内を見学、署員の出勤訓練をつぶさに見て日頃の苦勞をしのんでいた。

児童館と老人ホーム

下平井町に建設 明春には完成予定

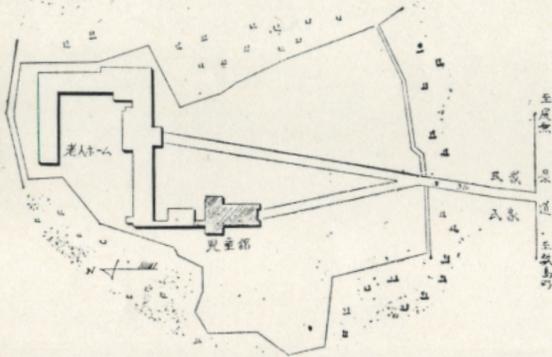
市では市内下平井町字幾世森四十九番地の、もと車庫のあと地(二七一七坪)に児童館および老人ホームの建設を進めております。将来はさらに花だんや池をつくり、芝生をめぐらし、ぶらんこ、すべり台、砂場なども備えて児童遊園地をつくるなど、さびしい老後を送る人々や、遊び場にめぐまれない子供たちの楽園とする計画です。

児童会館

去る十月二日総予算額二百四十万円(うち市費八十万円、県費百六十万円)で着工し、今月末に竣工の予定です。

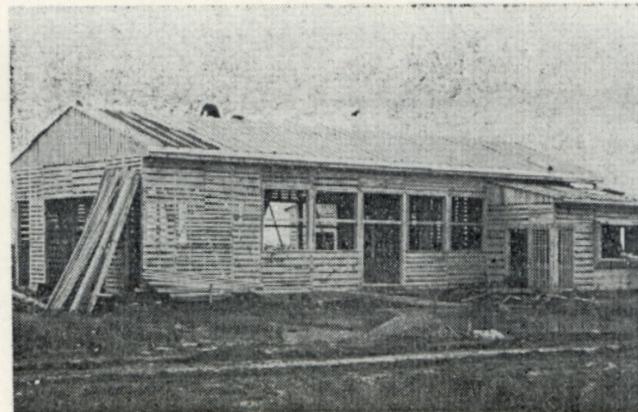
事業内容は午前は幼児、午後は低学年児童の集団指導を主とし、諸遊具を用いた組織的な体育遊び、危険回避能力の養成、または音楽、読書、紙芝居などにより、幼児、児童の情操を豊かにしようとするものです。幼児、低学年児童の指導に支障のないときは、子供会等に自由利用させそれらの集団活動も指導する

五所川原市児童館及老人ホーム配置図



(写真は建設中の児童館)

そのほか勤労青少年のグループ活動を促進し、明るい人間関係の形成、健全な余暇利用の指導『母の会』など地域子供会の育成組織の助長なども併せておこなうことになっております。



老人ホーム

総工費二千三百三十七万五千円(うち国費五百九十六万二千五百円、県費一千二百四十三万一千二百五十円、市費二百九十八万一千二百五十円)

去る十月一日着工し、来春三月三十一日竣工の予定

になっています。

収容人員は五十人で、八丁の和室十一、夫婦用四丁半の和室三、そのほか診察室、静養室、休憩室、寮母室、応接室、祭壇室など十数室からなるもので、めぐまれない余生を静かに送るにふさわしく、各和室は明るく、採光充分に設計されており、近代的な施設になる予定です。

(収容資格については次頁のとおりです。)

火事だ、ダイヤル一一九 火の元にまづ注意を

非常口の確保も

ことしも火災のシーズンを迎えました。

火災の防止はなんといつても火事を出さないようにつとめることが第一要件です。不幸にして出火した場合は被害を最少限度にくいとめるふだんの対策と、つとめるべきの機転が必要で

これから降雪期にかけての火災には尊い人命をあた

り失うという事態が年々ふえております。

これというのも防寒のため

の雪囲いにはこまごまとよく意をくば

ります。不

時の火災に際

しての対策に

は案外うとく

せつかく、広

い窓口や縁側

がありながら

峻重に塞ぎす

ぎ非常口の役

目を果さず、

逃げ口は開い

でせぼめられ

た出入口口と

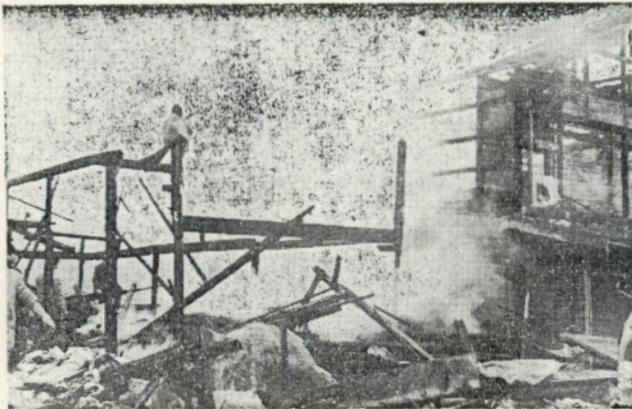
つという例が

あげられます

口(階段)のないことが原因しております。

防寒も健康上必要なことですが不慮の災いに對しての方策も充分考慮して雪囲いをしていただきたいものです。

火元が隣近所に対する迷惑と不信をかうというおそれから、ひそかに消しとめようとして自分の手にあまりあるいは気持ちのどうてんからうろろするうちに心ならずも大事にいたつたという例がみうけられます



(写真は新町アパートの火災現場)

発見者はことの大小にかかわらず早期通報の手を打ちそののち臨機応変の処置により被害を最小限にとどめる機転が必要です。

さる十一月十二日未明三名の焼死者と重傷傷十数名を出し、損害額一五〇〇万円にのぼつた市内アパートの火災も、前から非常口の配慮がなされ、今少し火災の発生を早く知ることができたなら、もつと小さな被害にとどめることができたものと考えられます。

なお市消防本部がこのほどまとめたことし一月から十一月末までの火災白書によりますと、火災の件数が

四〇件、損害額が二二四五万円と昨年同様にくらべ件数では一件多く、反対に損害額では約三三〇万円少なくなつております。

これは火災の早期発見、市民のみなさんの協力による早期通報で、火災を小火でくいとめていることがあらわれております。

原因別にみますと毎年のことながらトップは子供の火遊びで十三件、石油コンロによる火災が五件、タバコ四件、プロパンガス、煙突が三件、放火、石油類が二件、コタツ残火不始末、電気アイロンなどがそれぞれ一件となつております。

老人ホームの入所資格は 六十五才以上です

明春完成予定で工事を進めている老人ホームの入所資格者は、満六十五才以上の老人で、つぎの各項に該当する人です。

(一) 身体上、精神上または環境上の事情

① 身体上または精神上の障害のため日常生活に支障があり、かつその老人の世話をおこなう養護者がないか、またはあつても適切におこなうことができないと認められる場合

② 家族または家族以外の同居者との同居の継続が老人の身を著しく害すると認められる場合

③ 住居がないか、またはあつてもそれが狭隘であるなど環境がはなはだしく悪い状態にあるため老人の心身を著しく害すると認められる場合

(二) 経済的事情

① 生活保護法による保護を受けている世帯に属する場合

② 当該老人の属する世帯の生計中心者が地方税法に規定する市民税の所得割を課されていない者である場合

なお市内には現在約六〇

人の該当者がおります。

このホームに入りたい方は福祉事務所または近くの民生委員へご連絡ください

中川公民館

今月末に竣工

地元住民の多年の要望であつた中川公民館はさる十月から総工費一六〇万円で工事を進めていますが、いよいよ今月末に竣工することになりました同公民館は木造モルタル塗二階建て階下は集会室、事務室などで四十一坪、二階は十坪の会議室となつております。

新年名刺交換会のご案内

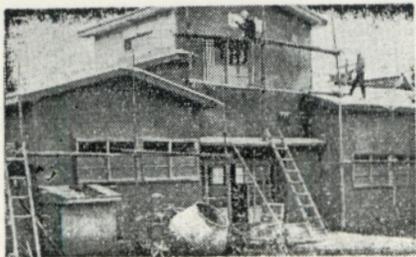
一、とき：昭和三十九年一月一日午前十時三十分

一、ところ：中央公民館

一、会費：三〇〇円(申込みと同時にねがいします)

一、申込み：市役所秘書企画課及び商工会議所へ十二月二十五日まで申込みください。

なお二十五日以後の申込みは印刷の都合で名簿に掲載されない場合もあります。



新・旧行事の一本化

新正月の希望多い

各町村にも協力を

西北五社会教育事務担当者連絡協議会では、新・旧正月のいづれを希望するかの意見調査をおこないました。このほどその結果がまとまりました。

この調査によると五所川原市の場合には新正月でやりたい人が五十一人、旧正月でやりたい人が三十八人となっており、その項目別では、新正月でやるようによびかけてもらいたい三十六人、みんなそろわなくても新正月でやりたい六人、町と歩調を合せて新正月でやりたい九人、旧正月でやりたい人は、家業に都合悪くて新正月できない二十五人、神社や寺の関係で新正月ではやりたくない一人、旧正月でないと正月気分が出ない十二人となっておりです。

これを西北五全部あわせてみると、新正月でやりたい

児童扶養手当

申請は早目に

児童扶養手当はつぎの各項に該当する人に対して支給されていますが、また手当の申請をしていない人は市福祉事務所に申込みください。

- ① 父母婚姻を解消した場合
- ② 父が死亡した場合
- ③ 父が廃疾の状態にある
- ④ 父の生死が明らかでない
- ⑤ 父が児童を引き続き一年以上遺棄している
- ⑥ 父が法令によつて引き続き一年以上拘禁されている
- ⑦ 婚姻によらないで生れた児童なので父がない
- ⑧ 養子などで父がいるかいないかが明らかでない

ねがいすることにしております。

新正月希望の主なる意見は

- ① 三一九人と新正月を希望する人が多く、これにもとづいて同協議会では新正月一化本を実施する態度を内定しており、嫁婿、奉公人等の関係先に周辺市町村の婦人会等を通じて『新正月には是非遊びによこしてもらたか』『新正月に遊びにやるから受け入れてもらいたい』の二項を徹底してお

正月は新暦で

市婦連で呼びかけ

五所川原婦人会連絡協議会、市内各地区婦人会では今年の正月から新正月をお祝いしましょうと、チラシを発行し、みなさんのご協力をお願いしております。

みんな揃つて新正月を祝いましょう

今年から旧正月をやめて新正月にすることを市内全部の婦人会で決めました。みなさんも是非ご協力下さい。

市消防団長に

雨森氏きままる



雨森 永一 氏

市消防団の幹部会は九日午後一時から市役所会議室で開かれ十五日で任期満了になる神武団長の後任に市内

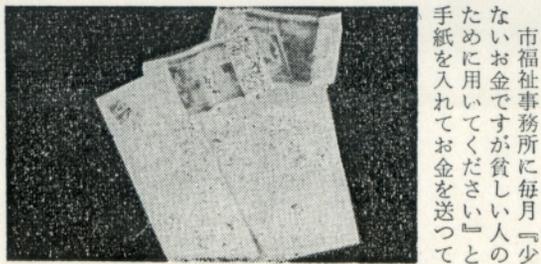
ので、旧正月では二重経費になる。(農業、五十四才)

④ 新旧どちらでもよいが、一回にしたい。(公務員、五十九才)

などの意見がありました。また反対に旧正月希望は

- ① 旧正月一本で小正月を廃止した方がよい。(教員、四十七才)
- ② 旧正にすれば諸作業もかたづけ、気温もよく、ゆつくりした気分になれる。(農業、五十七才)
- ③ 新旧どちらでもよいが、県全体で一本化したい。(農業、二十七才)
- ④ 稲の整理、りんごの荷造り、出荷で新正月は忙しい、旧正は一番暇な時で気楽に休める。(農業、五十六才)

送り主はいづこに



市福祉事務所に毎月『少ないお金ですが貧しい人のために用いてください』と手紙を入れてお金を送つて来ている奇特な人がおります。送り主は「小さな主のしもべ」となっており、手紙には必ず聖書の一節が書かれております。

あわただしい年の瀬になりますと、こうした奇特な方の親切がしみじみと身にしみ、人々の心にぬくもりを与えます。

同所ではこの送り主にお礼をしたいと送り主をさがしておられますので、心あたりの方は市福祉事務所にお知らせねがいます。

あなたの郵便貯金は こんなに役立っている

三兆二三四〇億円(三十八年七月三十一日現在)うち五十一パーセントが郵便貯金です。

郵便局では年末年始郵便貯金増強運動を実施しています
供米代金、ボーナスは安全

有利、便利、三拍子そろった郵便貯金がピッタリです
：無税：非課税貯蓄の手續をする必要ありません。

准看護婦生徒募集

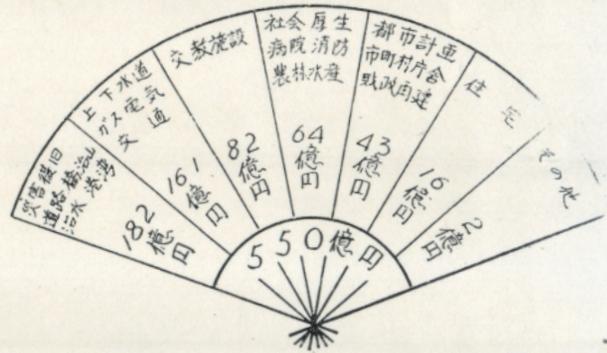
市立西北中央病院附属准看護学院では三十九年度准看護婦生徒を募集しております。

入学資格は新制中学校卒業以上で十八才未満の身体強健な方(昭和三十九年三月卒業見込みの者を含む)願書締切期日は昭和三十

九年一月三十一日まで、願書提出先は市立西北中央病院附属准看護学院となっております。

なおくわしいことについては市立西北中央病院附属准看護学院にお問合せください。

東北六県の運用部資金



歳末助け合い運動

不幸な人に愛の手を

上を見ても限らない。と同時に下を見ても限らない

不幸な人たちは私たちの周辺にもたくさんおられます。親を失った不幸な子ども、仕事がなく困っている人病のため療養している人たち、こうした人たちにも楽しい正月を迎えさせてやりたいものです。市福祉事務所では、このような恵まれぬ人々のために十二月一日から歳末助け合い運動をおこなっておりますので、みなさんの暖かいご協力をおねがいします。

年賀電報受付開始

五所川原電報電話局では年賀電報を十五日から受付けております。

係からおわび

十一月二十五日付発行の市政ニュースの発行番号が九十一号となっておりますが、一〇一号のまちがいでしたので訂正いたします。

民間の金融機関では預金を企業や個人に貸付、企業的に運用していますが、郵便貯金はいったん大蔵省の資金運用部にはいつて、そこから国の財政投融资計画にもつづいて県や市町村に貸し出されます。

この運用部資金は総額でなくしてはならないものでありまわらまわつて皆さんのお役に立っているのです。あなたの貯金がふえれば、それだけ学校が建ち橋がかげられ、明るく住みよい郷土をつくるのです。

防犯心得 6カ条

十二月には外出する機会が多くなり、また忘年会などで帰宅する時間のおそくなることもありましょう。

特別警戒は
おこなわれて
おりますが、
つぎの防犯心
得六カ条に各
人が留意した
いものであり
ます。

戸締りに注意を

12月は犯罪の月

①押し売り Ⅱうっかり
同情は禁物。居直り強盗になりかねないから一人ですす番していても大勢いるようにふるまい、危険を感じ

た時は近所におねがいする
③ゆすり Ⅱ強引な寄附
とか無理に正月飾りをして
金銭を強要するようなもの
があつたら警察に届けるよ
うにしましょう。

と仮定してボンヤリ歩か
ないこと。
⑥詐偽 Ⅱつり銭詐偽や、
ニセ店員、ニセ集金人が横
行するから念を入れること

少額のものを買つて帰らせ
てから警察に至急通報する
ようにしましょう。
②しのび込み Ⅱ外出の
際は金銭や貴重品はカギの
かかるところに分散してお
き、家を長時間あける時に

④かつばらい Ⅱ酔つて
道ばたや駅に寝ていると介
抱するとみせかけてカバン
やさいふを盗むものがあり
ます酔うくせのある人は大
事なものを持ち歩かないこ
と、知人に自宅まで送つて
もらうこと。

⑤スリ Ⅱデ

パートや駅、
金融機関の近
くには集団や
暴力のスリが
必ずいるもの